



慢性腎臓病
(CKD)
の患者様へ

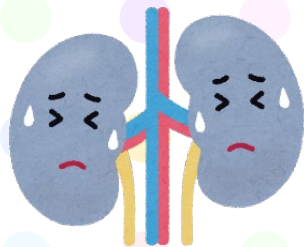
お気軽に
ご相談
ください



腎臓リハビリテーションのご案内

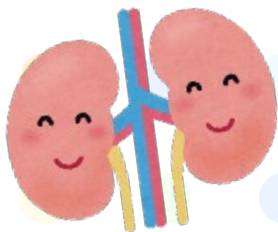
慢性腎臓病（chronic kidney disease:CKD）患者数は**成人の約8人に1人に当たる**約1300万人であり、また、メタボリックシンドロームとの関連が深く、誰にでもかかる身近な病気になっています。

腎臓病が悪化すると将来的には人工透析治療を受けることになります。熊本市は慢性腎臓病治療（透析）が日本で一番多い地域。透析になると一回に5時間、週3回の通院が必要になるだけでなく、多額の医療費がかかり家計を圧迫し生活の質を落としかねません。



当院では透析回避を目的とした腎臓リハビリテーションプログラムを行っております

腎臓リハビリテーションのご案内



1週間ほどの入院で現在の腎臓病にあった治療が選択できるように特殊な検査などを行います。そこからご自身に合った治療を開始します。

腎臓病専門医が検査データをもとに食事療法、薬物療法、運動療法をオーダーし1週間のリハビリテーションプログラムを行います。

退院後も外来で毎回フォローし体調の変化、腎機能のチェックなどを行っていき透析を受けなくて良いように腎臓リハビリテーションチームが支えています。

嶋田病院の腎臓リハビリテーションは



食事療法



運動療法



薬物療法



医師・看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士・作業療法士・社会福祉士を含めたチームでCKDの患者様を支えます！



運動療法は毎日2回、午前午後で専門のスタッフが適切な運動を提供します。運動メニューはエアロバイクなどの有酸素運動が基本ですが筋力トレーニングやストレッチも行い体調維持、体力・筋力の向上、血圧・脈拍の安定を短期目標に、心疾患をはじめとする動脈硬化性疾患の予防を長期目標に実施していきます。



腎臓病の方が薬を飲む際に気を付けなくてはならないことは、薬が体内に蓄積されてしまうことです。副作用を回避することと、腎機能障害を起こしさらに腎機能を悪化させる薬剤の投与を避けることです。薬剤師が現在服用している薬の種類や量をチェックし適用量かを医師と検討していきます。

腎機能の低下を抑制する食生活の基本は、食塩を取り過ぎない、たんぱく質を適切にとることです。腎臓に負担をかけないような食生活に切り替えることで、残っている腎機能を保護し、CKDの進行を遅らせることが可能です。患者様に合わせた食事療法のご提案をいたします。



医療法人 如水会

嶋田病院

〒860-0017 熊本県熊本市中央区練兵町24
TEL:096-324-3515 FAX:096-324-5190

熊本駅より

市電（慶徳校前電停）所要時間：5分

バス（桜町バスターミナル）所要時間：10分

タクシー 所要時間：5分



くわしくは外来スタッフまで